

No.KD0296 2021年12月 (2022/4月一部改訂)

禁帯出の閉架資料をパソコン画面で！

<https://www.fukkoku.net/ryukei>

KinoDenで読める

龍溪書舎

電子書籍版



電子復刻

fukkoku.net

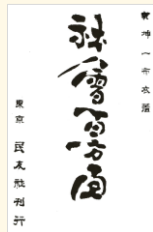
良書を絶版がない世界へ

2021年12月・2022年1月
発売予定コンテンツ

近代日本社会学史叢書 全48巻・附1 同時アクセス数1: 350,000円 (本体)

第1期 1868 (明治初) 年 (草創期) ~1906年・明治30年代 (生成期)

第2期 1907 (明治40年) 年~1918年 (大正7) 年 (形成期)



近代日本社会学史叢書紹介ページQRコード
ネットはこちら⇒ <https://bit.ly/2ZjAspK>

近代日本社会学史叢書編集委員会 (代表 川合隆男) 編、編集委員 川合隆男、原田勝弘、小倉康嗣、三浦直子、松尾浩一郎、吉村治正
本企画は、1868 (明治元) 年から第2次世界大戦終戦後の占領期である1953 (昭和28) 年まで、約90年間の我国の広く社会学史に関する基礎資料としての著作の復刻刊行を意図している。

21世紀を迎えて現代社会の社会変動は内外ともに激動の様相を示し、ますます複合的・多面的な変化、不確実な変化が増大してきており、自然と人間との関係をも含めて、人間と国家・社会・世界との関係、人間関係のありようを軸に、近代・現代社会の歴史的転換をあらためて再考察していく作業が重要な課題として課せられているといえる。明治以降の我国の社会科学と社会学の展開も、また例外なく、そうした大きな激動のもとで繰り広げられてきたのであり、このような激動のもとにあっては、将来を見据えて歩むべき方向や確とした指針を探り出すべくこれまでの先人たちの歩みや営々として築かれてきた知的遺産を検証する作業は極めて重要である。編者らの復刻作業はそうした検証作業の一環であり、近代日本の知的遺産の批判的継承とともに、知的資源の創造的展開も重要な作業であると考えている。

近代日本社会学史叢書 全48巻・附1巻 目次

百学連環 第1総論 稿 永見の饒香
第1 総論
第2 学術技芸
第1総論 百学連環聞書 第1稿 氷見饒香
第1総論 Introduction
第1編 第1号 百学連環 第1編 稿 永見の饒香
普通学 Common Science 枚舉Enumeration
第1 歴史 History
第2 地理学 Geography
第3 文章学 Interature
第4 Mathematics
第2編 第1号 百学連環 第2編 稿 上 氷見の饒香
〔殊別学〕 Particular Science
第1 Intellectual Science 〔第1〕 Theology
第2 Philosophy 哲学
第2編 第2号 百学連環 第2編 稿 中 なかみの饒香
第2編 第3号 百学連環 第2編 下 稿 氷見の饒香
第2 Physical Science 物理上學

総合的自然組織……維持組織……運搬組織 (以下略) 社会組織各階級機能分配一覧表

海外活動之日本人 (明治39年) ……横山源之助
第1 北米合衆国

- 1 太平洋沿岸に於ける日本人の発展
- 2 游侠傳の人、赤羽忠右衛門
- 3 学生時代に入る (政治の不平者は桑港に集る)
- 4 産業時代の健児安孫子久太郎氏
- 第2 英領加奈陀
- 1 腕車を飛ばし来れる一槍夫
- 2 加奈陀日本人の雄相川之賀氏
- 3 加奈陀在留の日本人
- 4 相川之賀氏の閱歴
- 5 相川之賀氏の前途
- 第3 アラスカ
- 1 有為の青年アラスカ

一次資料ですので、以下をご了解ください。
目次、ノンブルも当時のままです。
・OCR認識率が低く本文検索は行えません。
※目次は検索できます。
・版面の傾き、破れ切れ、判読できない文字の薄れやぼやけがある場合があります。

 **紀伊國屋書店**

紀伊國屋書店 デジタル情報営業部
TEL:03-6910-0518 FAX:03-6420-1359
ict_ebook@kinokuniya.co.jp

現代社会問題研究 全25巻 同時アクセス数1: 120,000円（本体）



現代社会問題研究紹介ページQRコード
ネットはこちら⇒ <https://bit.ly/2ZjxiSU>

現代社会問題研究 全25巻 目次

序論……東京帝国大学教授文学博士 建部遯吾
緒論
第1節 一つの謎
第2節 実理的研究
第3節 考察の順序
第4節 現代社会文明の生体
上篇 人間の始源及発展
第1章 人間の発生
第1節 智識上の極楽世界
第2節 如何にして？
第3節 何時？
第4節 何処？
第5節 何が為？
第2章 人間の発展
第1節 人には人間
第2節 人口の増殖
第3節 文明国の人口状態
第4節 交通の発達

日本社会学院（代表 建部遯吾）編、解題 内山秀夫、川合隆男
【検索可能な目次付き】
明治30年代から日本の資本主義は確立期に入る。大正デモクラシーとも重なり合うこの時期は、近代日本において、社会が前面に、そして国家が後景に退く状況であった。この歴史過程にあって、国家の側に立ちつくす社会学者、建部遯吾がいた。
大正2年に日本社会学院を設立し、社会学界を組織化した彼は「国体社会学」者として、社会本位主義を標榜し、大正デモクラシーに対抗した。つまり国体社会学が大正期社会学の主流であったのである。
本資料は基本的には、建部の日本社会学院が総力をあげて、「現代社会の骨がらみの社会病」に取り組んだ作業で、大正9年11月から、昭和2年11月にいたる正に7年間の大事業であった。当時の社会学を代表する人々が顔を揃える。そこには社会問題が国家的大問題である事態がみえる。反語的に、大正デモクラシー期を別決する基本資料でもある。 総頁数 8300頁

現代社会問題研究 第22巻 宗教問題
序論……大正大学教授 文学博士 椎尾弁匡
本論……萬国社会学学士院正員 建部遯吾
第1章 宗教問題の発生
第1節 宗教問題は社会問題——発生の一諸事由
第2節 所謂物質と精神との不調和
第3節 宗教の内在的一大矛盾
第4節 各種宗教の対立の認識
第5節 教化の各種事項の発達
第6節 合理思想及び平等思想
第7節 輓近學術の発達、医学特に精神病学
第8節 現代日本の宗教問題
第9節 問題の客観性と主観性
第2章 宗教の本質
第1節 宗教者宗教の本質を識らず
第2節 宗教の義解 社会運営、教化、人間
第3節 信仰
第4節 神

家庭雑誌 全6巻 同時アクセス数1:50,000円（本体）

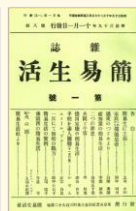
編集 堺利彦（明治36年4月～40年8月、全51冊、5巻）
付録：簡易生活（明治39年11月～40年5月、全6冊、1巻）

【検索可能な目次付き】

本誌は中流社会の家庭を対象として、啓蒙的に家庭生活の近代化をはかろうとするものであり、社会主義的色彩をもった家庭向け雑誌として、日本近代史上独自の役割を果たした。安部磯雄、荒畑寒村、石川三四郎、木下尚江、上司小剣、西川光次郎、白柳秀湖等が執筆している。『簡易生活』は、上司延貴（小剣）編集。虚像虚飾を一掃し、日常の生活を簡易にし、共同と平等を尊重し、しかも趣味と快楽を失わぬように心がけた、着実に穏健な生活改良誌。幸徳秋水、堺利彦、大杉栄、白柳秀湖、正宗白鳥が多く寄稿して、社会主義者と自然主義文学者との交流の場としても意義があった。

家庭雑誌 全6巻 目次

家庭雑誌 第5巻 第6号 明治40年4月1日
婦人諸君に与ふ……大杉栄
屠畜場 下……堺利彦
桜散る墓……竹久夢二
乙女の死……荒畑寒村
西洋菓子の拵え方……山田嘉喜
早婚……上司小剣
交友の追懐……深尾詔
家族制度の結論……大石禄亭
接吻の勝利……安成貞雄
女学校評論 5府立第1、2、3高等女学校……目黒里人
ローマ字欄……深尾詔



家庭雑誌紹介ページQRコード
ネットはこちら⇒ <https://bit.ly/3Ccfk9U>

簡易生活 第3号 明治40年1月1日
礼服
煩雑なる敬語……田中珂川
予の簡易生活……佐治実然
犬儒ダイオゼニス……大杉栄
ワオルデントローの簡易生活實歴……布挽知足
千利休の自然主義(中)……白柳秀湖
肉食の必要無し……谷太平
一月の菜園……かせん
花の手入……久田二葉
エミール・ゾラ(3)……正宗白鳥
かるた会の御馳走……田中たね子
簡易生活日記……上司雪子
怒濤と闇影……ユーゴー、山口孤剣 訳
理想の婦人……菅野須賀子
小説 三寸……上司小剣

帝国農会報 全33巻総91冊 同時アクセス数1: 300,000円（本体）



帝国農会報 全33巻総91冊 目次

帝国農会報 第1巻 明治44年前期 詔書

- ・ 本会記事——帝国農会の創立 建議案 本年度の事業
- ・ 地方農会記事——42年度府県農会の事業 農事に関する事項調査
- ・ 資料——農産物種苗取締 金融状況の調査 ドイツの農業党 フランスの農業組合
- ・ 学説——農具改良論 耕地整理 朝鮮の産業方針 農業資金問題
- ・ 雑報——観業農工法改正 穀物の過剰 米国農産物統計

帝国農会報 第1巻 第2号 明治44年2月

- ・ 本会記事——全国農具展覧会
- ・ 地方農会記事——44年度年度に於ける 府県農会の事業
- ・ 資料——農家経済の状況 カリフォルニアの 青酸瓦斯燻蒸法 カリフォルニアの稲作

明治45年～昭和18年【検索可能な目次付き】 総約 51,000頁
本誌は系統農会の中央機関誌として、農政経済問題についての主張・解説・各種統計や調査研究報告・海外事情の紹介など、系統農会相互の意志統一を目指す役割を持っていた。農政経済における高級理論誌・論叢誌として、『農業経済研究』と並んで戦前の農政経済問題、農業施策、農業団体の活動などの研究には不可欠の基本資料。



帝国農会報紹介ページQRコード
URLはこちら⇒ <https://bit.ly/2XE2Hc>

帝国農会報 第32巻 昭和17年11月1日発行

- ・ 論説——仏印米に対する若干の考察
- ・ 論説——日本に於ける農業簿記の存在理由と類型
- ・ 論説——永新農村記
- ・ 資料——農村物価調査月報

帝国農会報 第32巻 昭和17年12月1日発行

- ・ 論説——農村結核の本質と現状
- ・ 論説——工場を中心で見た農村労力の現状
- ・ 論説——政治的科学としての経済学
- ・ 資料——農村物価調査月報

帝国農会報 第33巻 昭和18年1月1日発行

- ・ 論説——大東亜に於ける稲作の技術構造
- ・ 論説——中支那農村復興の諸問題
- ・ 論説——熱帯農業に於ける作業形態
- ・ 資料——農村物価調査月報
- ・ 論説——馬の使役と形態との関係
- ・ 紹介——ソ連小麦事情

出版月評 全6巻・附1巻 同時アクセス数1: 70,000円（本体）



出版月評 目次

第9号

- 目次
- 批評
- 佛教活論本論第一編破邪活論……三宅雄次郎
- 中等教育算術教科書上巻……上野清
- 新撰理科書……林吾一
- 椿説弓張月……學海居士
- 日清文明論
- 獨眼龍
- 佳人之奇遇卷八
- 花間鶯下篇
- 一喜一憂捨小舟
- 涙の谷初巻
- いろは辞典
- 寄書
- 國民の友の批評を読む……飯田央
- 支那開化小史……慕顧學人
- 雜錄

月評社 刊 第9号～40号（明治21年4月～明治24年8月）

索引巻付き 【検索可能な目次付き】

わが国最初の書評雑誌。編集は櫻井欽太郎、福本日南、小林福蔵など。さらに高橋健三、陸羯南、杉浦重剛らも協力し、当時の出版洪水にあって量より質に正当な価値を見出そうとした。斬新な企画にあふれ、今日の出版、マスコミ界にも大いなる示唆を与えよう。全37頁の書名、人名索引巻を附す。



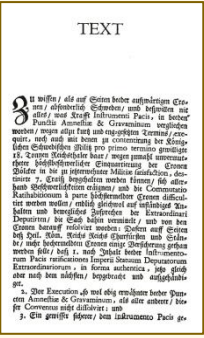
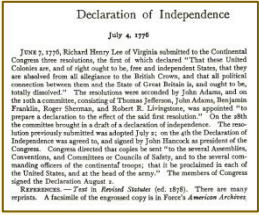
出版月評紹介ページQRコード
URLはこちら⇒ <https://bit.ly/3px1kOo>

第40号

- 政治學
- 東方策
- 漢文學講義錄……柳田幾作
- 幽囚錄
- 亞細亞地理
- 經濟雜誌(第五百七十九號乃至第五百八十三號)
- 殖物學字彙
- 文壇(第七號)
- 亞細亞(第二號第三號第五號第六號)
- 谷間の姫百合(第四)
- 青萍雜誌
- 支那文學(第一號)
- 史海(第二號第三號)
- 新註方丈記
- 伊勢物語
- 婦美かきふり——女子消息(上巻)

近代国際関係条約資料集 全5編・総22巻 同時アクセス数1: 160,000円（本体）

- 第1編 近代国際社会形成期の外交、
- 第2編 フランス革命よりウィーン体制成立期の外交
- 第3編 アメリカの独立と建国期の外交、
- 第4編 19世紀ヨーロッパ外交の発展と
ビスマルク期の外交
- 第5編 帝国主義期ヨーロッパ外交の発展



編集・解題1〜4編 大畑篤四郎、
5編 ハラルド・クラインシュミット、吉田 脩 共編
本シリーズに収録した条約類は、それらの内容を厳密に理解し、研究者や実務家の用に供するため、原文を忠実に収録している。さらに、条約類の相互関係の理解やそれらが形づくる国際関係の特徴を理解する一助とするため、編者による解題を附した。解題のみを通読するだけで、ヨーロッパの国際関係とその外部世界への広がりを知ることができるであろう。

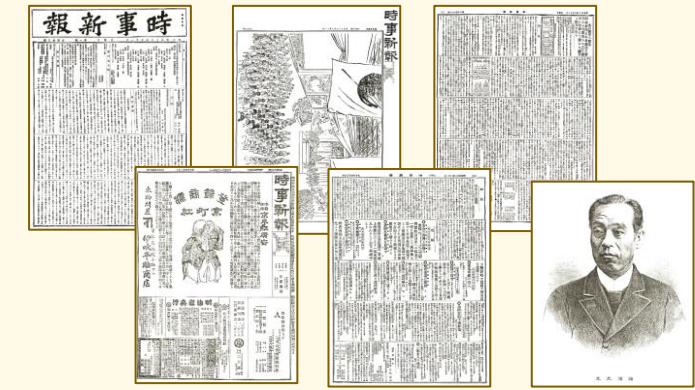
近代国際関係条約資料集紹介ページQRコード
URLはこちら⇒ <https://bit.ly/3GpFNxd>



時事新報 明治前期 記事分類目録（新聞付き） 同時アクセス数1: 540,000円（本体）

★2022年度特価

時事新報の「記事分類目録」（A4判、2段組、約4000頁：予定）です。2022年3月より2024年3月まで、半年単位で電子図書館サーバを更新し追加します。このため、裏面の通り、初年度、次年度は特価としました。「時事新報」そのものは、今後、オープンアクセス版が登場する可能性もあり、**附録として無償添付**します。
閲覧方法
記事分類目録はジャンルごとに順次提供します。初回は「中国」、「朝鮮」、「運輸」です。記事分類目録は旧字を新字に修正、ジャンルごとに全文検索が可能。下の例では検索後、該当巻[第17巻（3）]を開き15頁(電子版では17頁)にその項目があります。



附録：時事新報 明治前期 全20巻 116冊
※新聞116冊は目録お買上の図書館に無料で添付します
時事新報社 刊／龍溪書舎編集部 編
協力：慶應義塾大学福澤研究センター、同図書館、
国立国会図書館、東京大学法学部附属明治新聞雑誌文庫
明治15年3月〜34年2月（福沢諭吉存命期間）
原本号数 第1号〜第6206号(欠号なし、書込み汚れ切れなし)
『時事新報』は、近代日本の偉大な啓蒙思想家福沢諭吉の創刊になる歴史的文化事業であり、不偏不党の立場を貫いた数少ない新聞である。その清新重厚にして広い視野をもった内容がわが国の近代化に果たした役割は測り知れない程大きなものであり、今日においてなおおきかも色褪せることなく、識者の関心を寄せる所となっている。日本近代史、マスコミ史、政治史全般の研究に不可欠な、まさに垂涎の資料である。 **すべて東京版。**

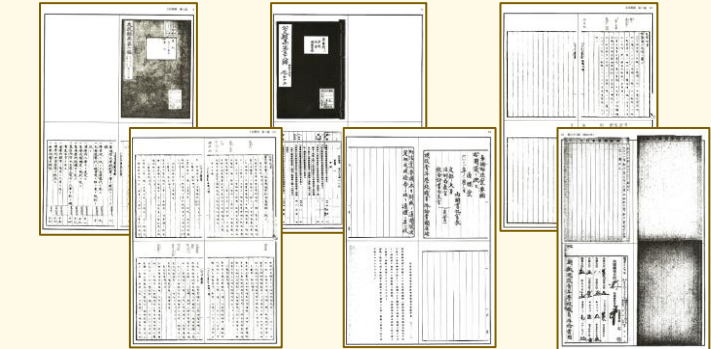
600DPI高精細スキャン
明治15年3月1日創刊号、
明治22年2月11日 大日本帝国憲法発布(2面)、
明治31年3月1日(2面)

時事新報紹介ページQRコード
URLはこちら⇒ <https://bit.ly/3nP5NJV>



日本近代教育史料大系 全44巻 同時アクセス数1: 400,000円（本体）

日本近代教育史料研究会（代表 佐藤秀夫、米田俊彦） 総約17,800頁
公文記録：太政類典（第1〜5編・外編）より 学制（慶応3年〜明治14年）
公文録：（慶応4年〜明治18年）より 国の重要指定文化財 皇漢両学所・昌平開成両学校・大学校・京都学校・大学・文部省
公文類聚：（第6編〜第69編）より 学政門および学事門（明治15年〜昭和20年）



＊龍溪書舎電子コンテンツのご注文は
営業担当者にタイトルをお伝えください

明治維新以後の日本近代教育史は「遅れたアジア社会」の一員だった日本を「欧米並み」に近づけるという明治国家の基本路線に沿って、国家権力側の強力なリーダーシップの下に形成の歩みが続けて来た。
国立教育政策研究所の日本教育史研究部門では「日本近代教育百年史」編纂当初より、国家の教育政策・行政に関する公文書史料の体系的・包括的な調査・収集・整理とその公開を基本業務として来た。本企画はこの過去四半世紀に及ぶ蓄積の集大成である。単に実定法令の羅列ではなく、法令の起草・起案・整文の過程を開示しており、近代日本における権力主体の教育理念の選択のプロセスを科学的に知る道を開く。詳細な収録文書目録付。日本教育史、日本近代史必備の文献

日本近代教育資料体系紹介ページQRコード
URLはこちら⇒ <https://bit.ly/3B7K1FC>



- 一次資料ですので、以下をご確認ください■
- ・目次、ノンプルも当時のままです。
- ・OCR認識率が低く本文検索は行えません。
- ・一部の原本に破れや切れ、判読できない文字の薄れやばやけの箇所があります。
- ・見開き頁の中央部分が若干短くなり、文字や図版が見切れる箇所があります。